

2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年 4月 22日

所属	政策情報学部	職名	准教授	氏名	淵元 哲
研究課題	政治経済学における「歴史理論」のフレームワークの構築				
研究キーワード	政治経済学 経済社会学 歴史理論 哲学的人間学	当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連するSDGs項目	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

「政治経済学における『歴史理論』のフレームワークの構築」という課題を掲げ、研究を進めたが、残念ながら、年度内にその成果を論文および研究発表の形で公開できなかった。この点については、真摯に反省し、2023年度に成果を確実に発表したいと考えている。ただし、研究自体については着実に進展があった。具体的には、私は、上記フレームワークのために、まずもって「個体レベルから社会レベルに至る「境界線」の構築と破壊」といった矛盾的行動をする「人間存在」モデルの構築を目標としていたが、当初の想定通り、J.ジェインズの「二分心」や西田幾多郎の「矛盾的自己同一」の哲学によって、それが可能であることが了解できた。加えて、そのような矛盾的行動を強いる「欲望」あるいは「衝動」といった現象を説明するにおいては、上記の思想にくわえて、S.フロイトをはじめとする「エス」の系譜に連なる諸思想も参照すべきものであることが理解でき、かつ、それらもこのモデルに組み込むことができる目処がついた。今後は、以上述べた「人間存在モデル」とそれに基づくフレームワークをもとに、近代帝国主義史の理論的説明を試みる予定である。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

該当無し。

【著書・論文（査読なし）】

該当無し。

【学会発表等】

該当無し。

3. 主な経費

上記の研究のために、関連書籍の購入に充てた。

上記の研究のために、所属学会（経済社会学会、政策情報学会、法社会学会）の会費に充てた。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

該当無し。

(本文は2ページ以内にまとめること)